

2023夏が好き！本が好き！！

～先生方が推すこの夏の1冊～

秋草学園高等学校 図書館



関口校長先生のおすすめは…

329-ナ『紛争地で「働く」私の生き方』 永井 陽右 || 著 小学館

私は大学時代、当時はまだマイナーだった国際関係論を専攻し、国際法や国際政治、国連などの国際機構について学んでいましたが、あるとき、「平和構築」についての集中講義があり受講しました。国際紛争、内戦、民族対立などを解決に導く方策についての講義でしたが、私は「武力」なしには解決は不可能だと感じました。

しかし、この本は、紛争解決に武力は必要不可欠でないことを示しています。

今でも世界は、ロシアによるウクライナ侵攻、スーダン内戦、パレスチナ問題等、紛争が後を絶たない状況です。そうした中、著者はソマリアやイエメンなどの熾烈な紛争地の最前線で、テロと紛争の解決をミッションに、武力を用いずにテロ組織との交渉、兵士の投降の促進・社会復帰支援に命がけで取り組んでいます。既存の武装解除のプログラムが通用しない状況で、仲間の死や時には絶望に打ちひしがれながらも当該国政府や国連機関を巻き込んで紛争解決に取り組む姿は、私のみならず多くの人の紛争解決についての意識を変えたいと思います。ぜひ一読を。

中村副校長先生のおすすめは…

①451-フ『雲のコレクション』 古川 武彦 || 文 岩槻 秀明 || 文・写真 洋泉社

図書館で借りられる本です。そしてこの夏にぴったりの本です。

「雲は空の顔である」と作者は説く。それを10種類の雲形名詞を使って表していることに感動を覚える。そして文と写真から広がるイメージは、自身をまるでその場所にいるかのように誘う。じっくり見入っていると「もつれ雲」のページは、「積乱雲」から「虹」のページに変わっていた。

②451-フ『雲を愛する技術』 荒木 健太郎 || 著 光文社

図書館で借りられる本です。そして「夏がふさわしいな」と思えるような本です。

世界には面白い雲があるなと思えたのは、「モーニンググローリー(クラウド)」。巨大なロール状の雲です。高校時代に聞いたリー・リトナーという人の曲と同じだ。とも思いつつ、地球の気持ちを雲が伝えてくれるという作者の表現に“愛”を感じることができました。いくつかの図や写真を織り交ぜて表現されていますので、見ても楽しい本です。

遠山教頭先生のおすすめは…

151-マ『14歳からの個人主義』 丸山 俊一 || 著 大和書房

筆者のいう「個人主義」とは、身勝手なエゴイズムを指していません。むしろそれは心静かに「ワクワク」することにつながる方法であり、一時的な興奮ではなく、やわらかな力強さをもった自信へとつながる道です。

多様性が叫ばれるほど、むしろ個という存在がおざなりとなり、生きている実感が奪われがちな社会の中で、自分を守るために大切な思考方法を教えてください。

全部を読まなくても、部分で読みたいところをさらっと読むだけでも良いと思います。

秋野先生のおすすめは…

913.6-カ『心霊探偵八雲』シリーズ 神永 学 || 著 文芸社・KADOKAWA・講談社

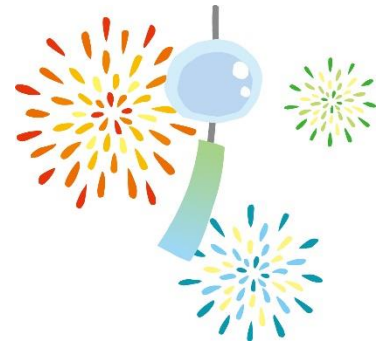
シリーズものですが、とても楽しく読み進められます。

伊久美先生のおすすめは…

①913.6-2『まく子』 西 加奈子 || 著 福音館書店

温泉が観光資源の小さな田舎町に、突然あらわれた美しい女の子「コスエ」とその「オカアサン」。…「まく子」はどこに？

主人公が小学生男子だからか、懐かしい気持ちになる一冊。



②913.6-1『終末のフール』 伊坂 幸太郎 || 著 集英社

「あと8年で隕石が衝突して地球が滅ぶ」と言われてから3年後の世界。じたばた生きる人もいれば、すべてを諦める人もいるようで。短編集なので、気軽に読めるはず。

稲本先生のおすすめは…

① 913.6-0『ライオンのおやつ』 小川 糸 || 著 ポプラ社

ドラマ化された一冊。でも派手な展開はありません。ゆっくりと時間が流れていくような物語です。ちなみに私は最後まで迷って「おやつ」を決められなさそうです。

② E-7『ぼく モグラ キツネ 馬』 チャーリー・マッケジー || 著 飛鳥新社

きっと「この本に出会えてよかった」と思える一冊です。ちなみに私は救われました。(大げさと言われるかもしれませんが)

稲荷先生のおすすめは…

673-7『I am a man.』 高橋 滋 || 著 オータパブリケーションズ

私が以前働いていたウエディングレストランのオーナーがかいた本です。サービスとは何か、ホスピタリティーとは何か、が書かれている、とても勉強になる1冊です。

「お客様に真剣に」「決してNOとは言わない」そんなサービスの仕方をここから私は学びました！

大庫先生のおすすめは…

B913.6-7『羅生門・鼻』 芥川 龍之介 || 著 新潮社

1年生で学ぶことが多い芥川龍之介の『羅生門』。教科書で学んだ人もまだ読んでいない人も、芥川龍之介の代表作を夏休みにもう一度読んでみてください。自分勝手な登場人物の心の動きが一度目に読んだものと、もう一度読み返したときとは理解の深さが違って来るかもしれません。

また、もう一冊『羅生門』と一緒に読んでもらいたいのが同じ芥川龍之介の『鼻』です。高僧禅智内供の心理のかわいらしさと周りの人たちの自分勝手な心理が描かれています。

『羅生門』も『鼻』も、芥川龍之介がエゴイズムの世界を描いた作品です。是非とも二冊セットで読んでください。

大鶴先生のおすすめは…

913.6-3『不機嫌なジーン』 大森 美香 || 脚本 小泉 すみれ || 著 フジテレビ出版

故竹内結子さんが主演を務めた同名ドラマのノベライズです。大学の研究室の話で、理系学生の日常や、研究室の雰囲気、大学院とは？といったことを知るとっかかりとしてはとてもいい小説だと思います。生物(2年生)で学習する動物行動学という分野を中心とした話です。生物に興味がある人は尚更、そうでない人にも是非手に取ってもらいたい一冊です。

太田先生のおすすめは…

778-ス『トトロの生まれたところ』 宮崎 駿 || 監修/スタジオジブリ || 編 岩波書店

ジャズが流れる行きつけの喫茶店でふと目が留まった。『トトロの生まれたところ』と書かれた本がそこにはあった。おもむろにページをめくると、宮崎監督が結婚を機に所沢に居を構え、家の周りを散歩する中で思いついた数々の発想が『となりのトトロ』に結びついたこと、『所沢にいるとなりのおばけ』が最初のタイトルだったことなどが書かれていた。

本校は所沢市と狭山市をまたいだ位置にある。狭山丘陵で展開するトトロの物語の舞台をもう少し知っておくこともわるくはない。「学校の周辺が昔はどうだったのだろう」と夏の夜長に思いを巡らせてみてはいかがだろうか。

大畠先生のおすすめは…

E-3『あつかったらぬげばいい』 ヨシタケ シンスケ || 著 白泉社

「あつかったらぬげばいい」という内容から始まり、最後は「さむかったらきればいい」で締めくくられます。絵本のカテゴリーではありますが、エッセイのような内容です。

「おしっこもれたろう」でおなじみのヨシタケシンスケさんシリーズで 1 番心を打たれました。日々の生活の中で「〇〇しなくては」と心に余裕がなくなったり、心が疲れたらぜひ読んでみてください。悩みを吹き飛ばしてくれます。むしろクスッと笑えます（笑）

鹿島先生のおすすめは…

801-3『なくなりそうな世界のことば』 吉岡 乾 || 著 創元社

世界には様々な言語があり、その一つ一つに人々の生活や土地の文化が反映していると気付ける本です。



加藤先生のおすすめは…

B913.6-ハ『兎の目』 灰谷 健次郎 || 著 新潮社

この本は大学時代に出会いその後の自身の人生に大きな影響を与えた本です。学生時代に何度か繰り返し読みましたが、今ではほとんど内容を思い出すことができません。内容を覚えていない本を推薦するのはおかしな話ですが、「将来、教員になりたい」と強く思うようになったきっかけをつくった本です。将来、教育の道を目指す人だけでなく、誰が読んでも感銘を受けること間違いなしです。自分自身の原点を見直すために、再度この夏読み返してみようと思っています。

上村実紅先生のおすすめは…

002-オ『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』 大阪大学ショセキカプロジェクト || 編
大阪大学出版会

（実はこの本はまだ読むことが出来ていないのですが・・・）

「ドーナツの穴だけを残して食べる方法は？」と聞かれたら、あなたはどうか答えますか？この一見矛盾した命題に、数学者や美学者、精神学者など様々な分野の研究者たちがそれぞれの「答え」を見つけていきます。「こんな問題答えなんかない！不可能だ。」という常識を超えて、「考える」ことの面白さを教えてくれそうですね。

今はスマートフォンが簡単に答えを教えてくれるようになって便利になった一方、私たちから考える機会を少しずつ奪っているのも事実。答えのないこの問いに、あなたなりに「ドーナツを穴だけ残して食べる方法」を見つけてみてください！

兼杉先生のおすすめは…

913.6-7『徳川家康』 松本 清張 || 著 KADOKAWA

単純に松潤の大ファンなので、ドラマ「どうする家康」の先読みをしたくなりました。今更ですが、歴史が再認識できます。

京極先生のおすすめは…

782-ヤ『走りが変わる！陸上スプリント最強のコツ50』 安井 年文 || 著 メイツ出版

「また今年もこの季節が来たか。」
重い腰を上げるとともに、校庭を見つめる教員がいた。
“明日から走る練習をしよう”
気付けば、明日が体育大会であった。
自分は走った。図書館に向かって。
今からでも間に合う練習方法は何かないのか。
本棚に光る、この本に出会った。
トレーニングの仕方、走るフォーム、速く走るコツ。
こんなにも走ることは奥が深いのか。
徹夜でこの本を読みこんだ。
寝不足での体育大会が始まった。



木村先生のおすすめは

B913.6-9『天国までの49日間 ~アナザーストーリー~』 櫻井 千姫 || 著
スターツ出版

高校2年生の芹澤心菜は、東高のボスで不良の及川聖と付き合っていた。ある日、二人は覆面の男に襲われ、聖は心菜を先に逃がして、覆面の男と対峙したが、金属バットで頭を殴られて命を落としてしまう。死後の世界で聖は、案内人「天使」と出会い、天国に行くか地獄に行くか、49日間の間に自分で決めるように告げられる。幽霊の姿で現世に戻った聖は、自分を殺した犯人を突き止め、落ち込んでいた心菜を救おうと決心する。一方、心菜は榊洋人という少年と一緒に、犯人を捜して復讐を果たそうとしていた。

聖と心菜の行く末はどうなるのか、聖を殺した犯人は見つかるのか、人間の絆のすばらしさを実感する一冊です！

栗山先生のおすすめは…

913.6-7『月の立つ林で』 青山 美智子 || 著 ポプラ社

今年の本屋大賞の作品です。本屋大賞受賞作（第5位）とは知らずに手に取った本でしたが、読み終わると「本屋さんが売りたい本」という思いがわかりました。

5つのストーリーからなる本です。それぞれの主人公は、長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦めきれない芸人、娘や妻との関係の変化に寂しさを抱える二輪自動車整備士、親から離れて早く自立したいと願う女子高生、仕事が順調になるにつれ家族とのバランスに悩むアクセサリー作家の5人です。つまづいてばかりの日常の中、5人の主人公がそれぞれに耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』 月に関する語りにも心を寄せながら、彼ら自身も彼らの思いも満ち欠けを繰り返し、新しくてかけがえのない毎日を紡いでいく——

静かな感動を味わいました。特に女子高生が主人公の『ウミガメ』というお話が好きです。

楠見先生のおすすめは…

『オーロラの彼方へ』 トビー・エメリッヒ || 著 竹書房

ニューヨークの上空にオーロラが現れた夜、主人公ジョンの無線機は時を超えて、30年前の父とつながる。ジョンの父は30年前、消防士の任務中に殉職したが、無線がつながったのは、なんとその前日。ジョンはあの手この手で父の未来を変えようと奮闘するが…

2000年に公開されたSF映画「オーロラの彼方へ」の小説版です。映画で観てもよし、小説版でじっくり楽しむのもおすすめです。結末が気になる人はぜひ。



迫先生のおすすめは…

①911.1-オ『水上バス浅草行き』 岡本 真帆 || 著 ナナロク社

②911.1-ハ『花は泡、そこにたって会いたいよ』 初谷 むい || 著 書肆侃侃房

③911.1-ニ『コンビニに生まれ変わってしまっても』 西村 曜 || 著 書肆侃侃房

いずれも2018年以降に出版された女性歌人による作品集。俵万智『サラダ記念日』(87年)以降、と言いきっていいかわからないけれど、短歌という文学ジャンルは何やら恐ろしい推進力で色々な垣根を破壊しながら突き進んでいて、今とても面白い状況になっている、と思います。図書館には上記以外にも幅広い世代の歌集を置いて下さっているので、本の装丁も含めて、沢山の歌人の中からお気に入りを見つけてみてください。

金木犀わからなまま生きていく星のかたちで出るマヨネーズ(岡本真帆)

全自動わんこごめんね全自動わんこ2のほうがちよっとかわいい(初谷むい)

持ってません温めません付けません要りませんいえ泣いていません(西村曜)

重田先生のおすすめは…

312-タ『13歳からの地政学』 田中 孝幸 || 著 東洋経済新報社

「地政学」という言葉を聞いたことがありますか？地政学とは、地理的な条件などに着目して、国と国の関係性・経済・政治・軍事に重点を置いて考える学問のことです。なんだか難しそうなきっかけですが、そこは本書のタイトル「13歳からの地政学」の通り、分かりやすく説明されています。高校1年生の大樹と中学1年生の杏の兄妹が、「カイゾク」と呼ばれる謎の男から、世界中の出来事がなぜ起きているのか理由を学んでいく……というストーリーで進んでいくので、地政学初心者にもおすすめです。例えば、「なぜ中国は南シナ海に進出しようとするのか」「ロシアが抱える地政学的な事情とは」「なぜアフリカの人々は豊かになれないのか」など、現代社会の疑問を地政学という観点から分かりやすく説明しています。今の世界を読み解き、これからの世界を考えるうえで読んでおくべき一冊です。

Joy 先生のおすすめは…

『The Sisterhood of the Traveling Pants』 Ann Brashares || 著 Turtleback Books

This coming-of-age series follows a group of childhood bestfriends all the way from high school to college. The girls share their ups and downs as they turn from teenagers to adults, documenting it all on a pair of pants that fit each girl perfectly.

染谷凌平先生のおすすめは…

B913.6-ツ『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 汐見 夏衛 || 著 スターツ出版

主人公の百合は戦時中にタイムスリップし、そこで出会った特攻隊員の彰に徐々に惹かれていく。現代を生きる百合は、戦時中の特攻隊員たちの「国のために。家族のため。」という考えに戸惑いながらも、共にその時代を生きる。二人の間にどんな運命が待っているのか。

異なる時代を生きる二人の恋の物語。

鈴木信滉先生のおすすめは…

B913.6-オ『君と1回目の恋』 大島 里美 || 著 集英社

29歳の崖っぷちギタリスト俊太郎は、カフェで働くナツに一目惚れ。そんな時、ピンチヒッターで大事なライブに出ることに。このチャンスに恋と夢をかけるも、大失敗をしてしまう。失意のどん底の俊太郎はその夜、バイト先のレコード屋で不思議なレコードを見つける。それは時間を巻き戻し、過去をやり直せるレコードだった。

時をかけめぐり何度も君に恋をする運命のラブストーリー。

関口先生のおすすめは…

① 913.6-カ『あかねさす 新古今集恋物語』 加藤 千恵 || 著 河出書房新社

日常のさざ波を魅力的にみせてくれる加藤千恵さんの短編集です。ふとした瞬間のさざ波を感じられる人でありたいと思う今日この頃です。

② 913.6-イ『永遠についての証明』 岩井 圭也 || 著 角川書店

大きな「才能」を目のあたりにしたとき、歯牙にかける必要のない「羨望」を無意識のうちにしてしまう弱さが人間にはあります。「羨望」に傷付けられた「才能」が朽ちてゆく様には、「才能」を持つ者への憐憫だけでなく「才能」を持つ者の弱さも感じてしまいます。少しばかり刺激の強い話なので、読むときは覚悟してください。

③ B418-1『生物から見た世界』 ユクスキュル・クリサート || 著 岩波書店

人間の知覚と生物の知覚はもちろん異なります。この本では人間的な感覚での生物の記述（ある種のファール的な記述）ではなく、生物自身の持つ「環世界」を通じて生物の記述を試みている古典的な科学の名著です。

高橋先生のおすすめは…

S375-ト『英語コンプレックス粉碎宣言』 鳥飼 玖美子/齋藤 孝 || 著 中央公論新社

みなさんもお名前を一度は聞いたことがあるであろう、有名なお二人の先生方の共著です。新書版で大学生、社会人向けの本ですが、高校生のみなさんも十分理解できる内容となっています。英語教育の現場をよく知るお二人の先生方が、英語コンプレックスから自由になるためのアドバイスや学習法を教えてくださいませよ！！

田中先生のおすすめは…

007-ミ『図解 眠れなくなるほど面白いAIとテクノロジーの話』 三宅 陽一郎 || 監修
日本文芸社

AI(人工知能)は人間を超えられるのか？現在では1部の分野では人間の能力を超えているAIが存在するが、万能ではない。囲碁は人間より強くても、絵を描くことができなかつたり、絵を描くことができても、文章を書くことができなかつたり、分野ごとには優れているが、トータルではまだまだ人の脳にはかなわないけど、2045年には人間を超えられるのか？AIは感情をもてるのか？いろいろな疑問のヒントがある1冊だと思います。どこからでも読み進められるので、ちょっと興味のある単元から読んでください。



塚田先生のおすすめは…

①913.6-ミ『成瀬は天下を取りに行く』 宮島 未奈 || 著 新潮社

②913.6-カ『銀河鉄道の父』 門井 慶喜 || 著 講談社

③913.6-ア『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇 美緒 || 著 集英社

以前の私の読書傾向は授業で扱うための日本史や時事関係のものが中心でしたが、最近は小説が多くなり、家でも通勤の際にも小説をよく読み、小説のおもしろさに目覚めました。今回は最近私が読んでおもしろかったものや印象に残ったものを皆さんに紹介したいと思います。夏休みのような長期休暇で勉強や部活の合間に読書を楽しみ、毎日を心豊かにすごしていきましょう。

奈須先生のおすすめは…

913.6-イ『もし高校野球部の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

岩崎 夏海 || 著 新潮社

敏腕マネージャーと野球部の仲間が甲子園を目指して奮闘する青春小説。高校野球の女子マネージャーのみなみちゃんは、マネージャーの仕事のためにドラッカーの『マネジメント』を間違えて買ってしまいます。はじめは難しくて後悔するのですが、しだいに野球部のマネジメントにも生かせることに気がきます。これまでのドラッカー読者だけでなく、学生から若手ビジネスパーソンなど多くの人に読んでほしい一冊。

原口先生のおすすめは…

081-7-1『福澤諭吉著作集 第1巻 西洋事情』 福澤 諭吉 || 著 慶應義塾出版会

国から通訳として派遣された福澤諭吉が、ロンドン万博で受けた衝撃の描写と
か当時日本になかった近代的な仕組みや技術の紹介が面白いですヨ。



福島先生のおすすめは…

『ズバリ診断！EQテスト』 木村 政男 || 著 現代書林

私たちの人生を豊かにする大切なものの一つとして「人との出会い」があると思います。人柄の良い人と出会い、心温かな家族に囲まれ、社会生活でも互いに信頼できる仲間がいる。その一つ一つの出会いは、人生の宝物です。

人との出会いを大切に、人間関係をより良くする能力を身に付けることは、人生を豊かにします。

しかし、世の中は「いくら稼ぐか」「どれだけ利益を上げられるか」に翻弄されて、若者が闇バイトに陥っています。

高収入を得ることは、生活の安定につながり、人生を豊かにするものでもあると思いますが、いくら高収入を得ても、欲望の塊になってしまって、善悪の判断も出来なくなるとは、本当に豊かな人生といえるのでしょうか？

本校では、総合学習などの時間にEQ診断を行っています。この本は、応用心理学の研究者である日大名誉教授の大村政男教授が、わが国で初めてEQ測定法について書いたものです。EQ「エモーショナル・クオシエント」は心の偏差値とも呼ばれるものです。この本でEQ診断してみて、自分自身を見つめなおし、心の豊かさを手に入れるヒントを得てみて下さい。

本多先生のおすすめは…

913.6-1『花ざかりを待たず』 乾 ルカ || 著 光文社

この本を読み終えた直後、私は「こういう人も世の中にはいるんだ」という思いを強くした。全271ページで最初の50ページは、「この女の、一体何を考えているのかな」と思いながら少々興味もなく読んでいました。ページが進んでいくと、父親の病気を通して、家族の結びつきが書かれています。私も3人の娘の父であり、また、私の両親も亡くなっているのです。この本の最終章に気持ちが入り込んでいきました。読みやすい文章です。この本を夏休みに読んで、もう一度、家族を見直してみることも必要なことと思います。

升田先生のおすすめは…

B361-7『「空気」の研究』 山本 七平 || 著 文藝春秋

私たちは、何かを決める時、目には見えないその場の空気に左右されています。「空気を読む」というのは日本人特有のものとも言われていますが、果たして…。



丸一先生のおすすめは…

597-1『人生がときめく片づけの魔法』 近藤 麻理恵 || 著 サンマーク出版

憧れのミニマリストにはなれないけど、片付けが上手な人にはなりたいです。

この本を読んだら必ず片付けたくなるし、物を捨てたくなります。時間に余裕のある夏休みに片付けをするきっかけがもらえるかも。

三ツ木先生のおすすめは…

289.3-オ『マイ・ストーリー』 ミシェル・オバマ || 著 集英社

シカゴの貧しい街で育った少女時代。常に努力を続けて入学したプリンストン大学で、学生のほとんどが白人男性であることに打ちのめされたこと。辛い思いをした流産や不妊治療。共働きで子育てをする中で、なぜ自分ばかりが仕事を犠牲にしなくてはいけないのかとイライラし続けたこと。バラクの夢を支えるために、大嫌いだった政治の世界に入り、身を削って選挙のサポートをしたこと。そして何もかもが特殊なホワイトハウスで、二人の娘を“普通”に育てようと必死で努力したこと。大統領夫人として政治に口出しすることは控えたけれど、子どもたちの食生活にもっと野菜が増えるよう企業に働きかけるなど、自分の立場をフル活用して夢を実現したこと。私たちと変わらない悩み多き人生を送る1人の女性の飾らない日常がいきいきと描かれています。自分の思いどおりにならない状況でも、冷静に相手を観察して、一番いい道を選び取っていく。誰かのせいにはせず、自分で考え続け、成長し続ける姿から、刺激とヒントを得られるミシェル・オバマの物語をぜひ体感してください。(Amazonレビューより)

上記のレビューを読んで、「読んでみたい!」と本を手に入れました。今読んでいる最中です!私が読み終わったら、ぜひ読んでください。

守谷先生のおすすめは…

①293-7『北欧こじらせ日記』 週末北欧部 Chika || 著 世界文化社

②293-7『北欧こじらせ日記 移住決定編』 週末北欧部 Chika || 著 世界文化社

③293-7『かもめニッキ』 週末北欧部 Chika 世界文化社

フィンランドを愛するがあまりすし職人としての移住を目指す。これを実現しちゃうから Chika さんはすごい。その行動力、意志の強さ…見習いたくても見習えないのでは。でも少しでも近づきたいな、同年代だし、と思ってフランス語のテキストを聞くのです。

水谷先生のおすすめは…

①B913.6-㉔『ハサミ男』 殊能 将之 || 著 講談社

みなさん。これ、この世で一番面白い小説です。主人公は世を騒がせる連続殺人犯「ハサミ男」。三人目のターゲットを殺そうと準備を着々と進めていたある日、突然自分が狙っていたターゲットが、自分と全く同じ手口で殺されていることに気が付きます。ハサミ男は思いました。「なぜ被害者は殺されたのか。模倣犯の正体は誰か。」

ミステリにつきものの「探偵役」が、本作ではまさかの「殺人鬼」。しかし警視庁の捜査班も負けじと本家「ハサミ男」を背後から追い詰めます。犯人を追いながら自分も犯人として追われる展開は、息を忘れるほどスリリングなもの。記憶を消してもう一度読みたい。私が。

②933-ハ『夏への扉』 ロバート・A・ハインライン || 著 早川書房

犬より猫派のあなた、これは聖書です。犬派のあなた、これを読んで猫教に改宗しましょう。作者はSFの大家ハインライン。舞台は1970年、ロサンゼルス。主人公の発明家「ダン」の飼い猫「ピート」は、冬を嫌い（足の裏に張り付く雪を憎み）、夏を愛する猫です。

ピートは冬になるとダンに「ニャン」と命じて家のすべてのドアを開けさせます。どこかに「夏へ続く扉」があると信じてやまないのです。婚約者と親友に裏切られたばかりのダンも、ここではないどこかへと続く扉を探していました。そんな折、ダンもは策略によって冷凍睡眠で30年後の2000年に送り込まれます。目覚めた未来で、失ったものを取り戻すためのダンの戦いが始まります。胸に夏のさわやかな温もりが広がる、あたたかな物語です。

薬師先生のおすすめは…

599-ナ『子どもが幸せになる「正しい睡眠」』 成田 奈緒子/上岡 勇二 || 著 産業編集センター

食事・便通・体調・感情・勉強、全ての原因は睡眠にあり！？正しい睡眠は生活を豊かにします！

山崎先生のおすすめは…

S497-ナ『自分を支える心の技法』 名越 康文 || 著 小学館

生きていくこととは、人間関係の現場の中に入って、そこでの問題を日々解決し続けていく事です。しかし自分の中に指標がなければ、思い迷って毎日が不安やストレスの連続にもなりかねません。

この本の知識を生かせば、必ずしも思い通りにいかない人生に役立てる事ができるかもしれません。

結城先生のおすすめは…

B911.1-カ『中世の文学伝統』 風巻 景次郎 || 著 岩波書店

雨が弱まって風はやみ、雲は消え夕日が差す。放課後の道でそんな情景を見て、何だかエモいなと思うかもしれません。

ふりよわる 雨をのこして 風はやみ よそになりゆく 夕立の雲

これは「風雅集」という室町時代の歌集におさめられた和歌の情景。爽やかな光を感じます。

筆者は中世和歌文学史を通じ、日本の伝統文学の軸は和歌にあることを教えてくれます。皆さんの感性もこのような歴史や文化によって育まれたものかもしれません。



湯本先生のおすすめは…

B986-7 『戦争は女の顔をしていない』 スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ || 著
岩波書店

小説『同志少女よ、敵を撃て』の「現実版」とでも言えばいいのか。

独ソ戦で実際に従軍した女性たちの証言は、歴史としての事実の裏側に隠れた個々の苦しみが続られる。その言葉は小説にあるような飾られたものではないだけに、より重い。「戦火の中を女性が生きるとはどういうことか」考えるきっかけになる一冊だ。

鈴木司書のおすすめは…

949.7-7 『アンデルセン童話集』 アンデルセン || 著 世界文化社

今年は“ディズニー創立100周年セレブレーション”だそうです。その記念の年に公開されている実写映画『リトル・マーメイド』はアニメ版との違いが話題になっています。ダイバーシティ時代を反映させたことの可否はわかりませんが、そのアニメも元となったアンデルセン童話と大きな違いがあることを知っていますか？

アリエル（アンデルセン『人魚姫』）、シンデレラにラプンツェル（グリム童話）、ジャスミン（『アラビアン・ナイト』）と、ディズニーでおなじみのプリンセスのもとのお話をぜひこの機会に読んでみてください。人々が語り継いできた童話には、人間のサガや幸福への知恵が集積されています。時代の要求とは合わないこともあります。それらを知ったうえで今のディズニープリンセスたちの活躍を見ると、きっともっと楽しめるようになるはずですよ。

今井司書のおすすめは…

S440-7 『宇宙人と出会う前に読む本』 高水 裕一 || 著 講談社

世界初の民間人宇宙旅行が実現したのが2001年、そして2021年には日本の民間人として初めて実業家の前澤友作さんらが宇宙旅行をしました。

その費用はまだまだ高額ですが、将来私たちにも宇宙旅行に行けるチャンスがやって来るかもしれません。その頃にはもしかすると…、宇宙人との交流もあるかも！？この夏はそんな未来に備えて、全宇宙で共通の教養を身につけてみませんか。

「あなたはどこから来ましたか？」の問いに「地球という惑星から来ました」と答えるのも、「あなたは何でできていますか？」の問いに「肉と骨でできています」と答えるのも、宇宙間の交流では不親切。どんな風に答えるのがスマートなのかを学びながら、宇宙についての知識を深めていきましょう。

宇宙人と仲良くなるのに役立つ！と思って読むと、難しい内容も不思議とおもしろく感じられます。